

令和5年度

つくばみらい市家庭教育通信



日頃よりつくばみらい市の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。今回は、家庭教育について考える機会をもつていただくために、この通信を発行しました。ぜひご一読ください。

家庭教育とは何だろう？

家庭教育はすべての教育の出発点

いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつを習慣にしている。

ごはんは家族一緒に食べる。

園・学校での出来事などについて、子どもと話をする。

早寝早起きを心がけている。



こういった毎日の生活の一場面。皆さんのご家庭では、どのように過ごしていますか？
家族のふれあいを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で家庭教育は重要な役割を果たしています。
家庭は、子どもたちが最も身近に接する社会。常に心のよりどころとなるものです。子どもが安らぎを感じながら健やかに成長できるよう、かつて大人自身が家族のふれあいの中から教わった「大切なこと」を、子どもに伝えましょう。

家庭教育の4つのポイント！

何でもうまくできる親はどこにもいません。親も子も一人一人違います。子育てをしながら親も成長していきます。

■「待っていただけますか？」

子どもは失敗しながら成長していくものです。親として子どもの成長を信じて待つことも大切です。自分のことは自分でしようとする心が育つと、自分からいろいろなものに取り組もうとする意欲がわいてきます。子どもが超えなくてはならないハードルを見守っていきましょう。

■「子どもの話に耳を傾けていますか？」

子どもは愛を確かめたくなると、「ねえ、ねえ」と話しかけてきます。話をゆっくり聞いてあげると、子どもは安心し、親との愛を深めます。子どもが話をしている途中で、注意や話をさえぎってしまうと、それ以上子どもは話せなくなってしまいます。子どもの話をうなずきながら、最後まで聴きましょう。

■「自己肯定感（自分を大切にできる心）を育みましょう」

お手伝い体験は子どもの自信とやる気につながっていきます。家族から「ありがとう」「助かったわ」と、喜んでもらえると、子どもは人の役に立つうれしさや満足感を感じ、人のために何かしようと考え、思いやりの心が育ちます。そして、自己肯定感を育むことにつながっていきますので、積極的に「ありがとう」などのうれしい言葉を伝えていきましょう。

■「規則正しい生活習慣を」

子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。朝の光を浴びて、昼の活動をすることで、よく眠ることができます。昼夜逆転することのないよう幼少期から正しいリズムを作っていきます。

～みらい親楽講座を開催しています～

つくばみらい市生涯学習課では、子育てのヒントとなるよう発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会『みらい親楽講座』を開催しています。広報などで案内しますので、ぜひご参加ください。



～茨城県からのお知らせ～

人権啓発映画「ホーム」のご案内

同和問題（部落差別）を主軸として、障がい者差別、外国人差別、性的指向及び性自認による差別、インターネットによる人権侵害、職場におけるハラスメントを取り上げ、これらの問題が決して他人事ではなく、正しく知り、身近な問題として考えることが様々な人権課題に関わる差別意識の解消につながることを描いています。

ぜひご覧ください。（収録時間 46 分）

URL : <http://ibakira.tv/movies/view/103518>

「ホーム」
QRコード



家庭教育応援ナビ

県では、家庭の教育力向上を図るため「家庭教育応援ナビ『すくすく育ていばらきっ子』」を開発しています。子育てに役立つ情報がたくさん掲載されていますので、是非ご活用ください。

URL : <https://www.edu.pref.ibaraki.jp/katei>



最後まで読んでいただき
ありがとうございます★

《発行》令和5年10月
つくばみらい市教育委員会 生涯学習課
〒300-2395 つくばみらい市福田 195 番地
電話：0297-58-2111(内線 7304・7305)